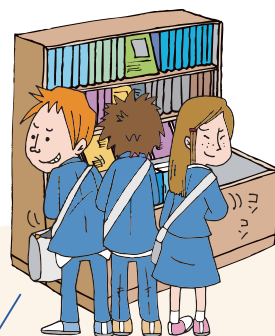


夏休み直前！子どもが犯罪に巻き込まれないために

学 校以外で様々な体験ができる夏休み。一方で、学校や勉強から解放されて、子どもたちの気もゆるみがち…。夜遅くまで出歩いたり、お酒やたばこに手を出したりするなど、ささいなきっかけで非行に走ってしまいやすい時期でもあります。当然、犯罪被害に遭う危険性も高くなります。子どもを非行や犯罪被害から守るために、大人は何をすべきでしょうか？



子どもたちの身近に潜む危険

POINT 01

インターネット・SNS利用

情報が溢れるインターネット上の世界。もちろん、役立つ情報もたくさんありますが、暴力的な表現やアダルト画像など、悪影響を及ぼす有害な情報も数多く存在しています。使い方を間違えると、自分では気付かないうちに見知らぬ人に個人情報を知られてしまうことも。



POINT 02

夜遅くの外出

夏はイベントも多く、友だちと揃って参加してそのまま帰りが遅くなり…。友だち付き合いを大事にしたい子どもの気持ちも尊重したいけど、羽目を外しすぎていないか、トラブルに巻き込まれていないか。夜間の一人行動はもちろんですが、複数人であっても、深夜の外出は危険を伴います。



POINT 03

大麻・覚醒剤などの薬物乱用

薬物乱用の本当の恐ろしさは、身を持って体験しないとわかりません。ですが、わかる頃には、心身に深刻な悪影響を及ぼして、自分の意思ではやめることもできなくなっているでしょう。ちょっとした“好奇心”やその場の雰囲気ですて手を出してしまつて薬物依存に…。もしかして、『身近な危険』とは思っていない大人も多いのかも。薬物に手を出せる環境なんて、滅多にないよ…。そんな場所へ行かなければ…。いえいえ。思っている以上に、身近に、潜んでいます。



大人にできること

POINT 01

インターネット犯罪から子どもを守る

フィルタリング(=有害情報へのアクセス制限)機能の活用

携帯電話事業者は、18歳未満の子どもが利用する場合、フィルタリングサービスについての説明や設定を行っています。年齢や使い方によるレベル設定が可能で、利用したいサイト、SNSなどの個別の設定もできます。



ペアレンタルコントロール機能の活用

子どものスマートフォンなどの使用状況を保護者が把握し、利用時間の管理や課金制限などの安全管理を行う仕組みです。OS事業者、アプリ開発事業者からサービスが提供されており、利用時間やアクセスできるサイト、履歴の確認など、子どもの発達段階に応じて保護者がインターネット利用を管理できます。ただし、活用する際はその目的や役割を子供に説明し、理解を得ることが大切です。子供とはいえプライバシーへの配慮も大切に。



POINT 02

門限を決めて、夜遅くの子どもだけの外出はしないように

外出時は行き先や帰宅時間の報告など、保護者がある程度把握できるように約束を。そして何より、子どもにとって家庭がやすらぎを感じられる居場所であるように、普段から子どもの悩みや不安に耳を傾けて、何でも話せる環境づくりに努めましょう。



POINT 03

『NO!』と言う勇気を、様々な場面に応じた対処法を、事前に話し合う

薬物に限らず、子どもが遭遇し得る様々な場面の危険性を日頃から共有しましょう。そして、たとえ親しい友人に誘われても、その場の雰囲気流されずに「きっぱりと断る」大切さ、断りにくい場面では「とにかくその場から離れる」、危険を感じたら即座に「大声を出す」など、とっさの場面でも自分で取るべき行動を思い返せるように、身近に起こり得る危険を具体的に教えて、子どもと一緒に対策を考えてみましょう。



【参考】政府広報オンライン「夏休みは危険がいっぱい!? こどもの非行・被害を防ぐために」



防犯カメラのことなら
株式会社塚本無線

◎ 三重県津市河芸町東千里1060

◎ support@wtw.jp

☎ 050-1752-8000(10:00~17:00)

☎ 059-245-6999

製品に関する
お問い合わせ

製品の使い方・設定方法・
取扱説明書は公式サイトで
ご覧いただけます。

塚本無線

